



▲ちょうちんにはLED電球が付けられ、省エネ対策が施されている。同地区長は「一人の集まり、街を活性化させていきたい」と話していました。

商工会南淡支部阿万地区のメンバーが、地区の桜の名所にちょうちんの飾り付けを行いました。飾り付けられた

桜にちょうちんが飾り付けられる

ちょうちんは440個。地区の活気を取り戻そうと125団体の業者や自治会の協力により実施されました。



▲約60匹のこいのぼりが川に沿って泳いでいます

い。来年は桜の咲く時期に、自治会や公民館の協力を得てイベントも開催したい」と話



▲手前が1号墳で奥が2号墳

湊里地区で3月31日に、埋蔵文化財事務所が古墳時代後期(7世紀前半)に造られたとされる古墳2基を発見した

農地から古墳の発見

里丸山1・2号墳

ことを発表をしました。同地区では、今年度計画されているほ場整備事業を前に確認調査を実施。地下に遺跡があることを発見し、今年2月より発掘調査を行いました。1号墳は幅90cm×長さ4mの横穴式石室を持つ、直径7〜8mの円墳もしくは方墳。また隣接して築造された2号墳は、直径5〜6mの円墳で、幅90cm×長さ2.9m以上の横穴式石室を持ち、1号墳の後に造られたとされています。



▲里丸山1・2号墳のイメージ図



▲出土した勾玉や管玉、ガラス玉

ます。1号墳と2号墳は同じ方向に造られており、地域の有力者とその関係者らが埋葬されていたと考えられています。出土物は、須恵器やガラス玉など約120点発見されています。同事務所の坂口弘貢課長補佐は、「市内で古墳の発掘は6例目。淡路の古墳時代の埋葬方法を考える上で貴重な古墳です。」と話していました。

「親子で南淡ら・ら・ら」が開設

子育てほっとステーション

ショッピングセンターらら・ウォーク(賀集)に、子育てほっとステーション「親子で南淡ら・ら・ら」が開設されています。子供と一緒に気軽に買い物に出かけられるよう、子育て支援スポットとして開設されています。幼児にも安全にクッションマットを壁面に使用して、遊びのスペースに絵本や積木、保護者が座って見守れるテーブルや椅子も設置されています。母親同士のちょっとした息抜きや交流の場として、また、親子イベントの催しや育児ボランティア活動などでの利用ができます。



▲「県の子育てほっとステーション設置事業」の補助を受けて開設。ららウォーク事務局 ☎50-2020

保存活動を続け後世に残す

お局塚供養祭

伊加利にある多摩山にあるお局塚で、4月18日お局塚保存会の会員ら約15人が供養祭に参列しました。同塚は平清盛の甥、通盛の妻小宰相の局が弔われたとされています。保存会では18日を命日と決め、昭和37年から毎年供養祭を行っています。祭典では行徳寺(大阪)川端寛恵住職がお経を唱える中、次々と参列者が焼香をしました。保存会会長の榎野英昭さん(伊加利)は「命ある限り保存活動を続けます。そして次の世代に伝えていきたい」と話していました。



▲お局塚の前に参列する関係者

家で簡単にできるヘルシーなフランス料理

働く婦人の家



▲午前と午後の2回、各20人が協力して約1時間で料理を完成

4月19日、働く婦人の家で、プロが教えるフランス料理教室が開かれました。20人の受講生が、手軽に手に入る材料を使った「若鶏のパン粉焼き」「海の幸のパジル風味」「鳴門金時のポタージュ」の見事な料理を完成させて、美味しくいただきました。



▲できあがった料理

講師の安田さんは、「淡路の食材は、新鮮で味が違います。地元食材を使って気軽にフランス料理を家庭で楽しんで欲しい。」と話してくれました。

かわいらしい赤ちゃんが誕生



▲ワラビーはオーストラリアやタスマニア島に生息

イングランドの丘では、かわいらしい赤ちゃんのワラビーとアンゴラヤギが人気を集めています。誕生したワラビーは4頭。同施設では、ベネットアカク

5月頃まで、袋の中からひよっこ顔を出す姿を見ることが出来ます。また同施設では、双子のアン

イングランドの丘



▲アンゴラヤギは北米や南アフリカで飼育されています

ワラビーが15匹飼育されています。ワラビーの赤ちゃんは8〜9か月間、母親の袋の中に入って成長します。

ゴラヤギが3月に誕生しました。現在4頭飼育されています。アンゴラヤギはねじれた角と白い光沢のある毛が特徴。毛は織物の原料として利用されます。同施設の飼育員は、「子どもが元気な姿を見て癒されてほしい。」と話していました。

米粉のピンス焼き

米粉利用推進協議会

市や食品会社などで作る「南あわじ市米粉利用推進協議会」は、米粉を使ったピンス焼きを開発しました。同会では、昨年からの米粉の需要を伸ばそうと米粉のピンス焼きの開発に着手し、同会員で(株)AME 企画の森鈴夫さんの協力を得て完成させました。

同会は、「米粉をイベントなどでもっとPRして需要の拡大を図ってしていきたい」としています。米粉のピンス焼きは5月15日にイングランドの丘で開催される南あわじ直販フェアでも販売されます。



▲森さんは「配合する水や卵などの量を調整するのが難しかった。もっちりとした食感のピンス焼きができた」と笑顔で話します

防犯ブザー寄贈

西淡ライオンズクラブ



▲防犯ブザーを手に微笑む児童たち

市内17校の小学校で4月8日、入学式が行われ、新1年生429人全員に防犯ブザーが配られました。このうち、200個は西淡ライオンズクラブ(瀬尾弘澄会長)から贈られたものです。寄贈は今年で7回目。防犯ブザーはてんとう虫の形をしており、子どもたちの人気を集めています。同クラブと市では、近年全国的に増加している子どもを取りまく犯罪の予防などに役立つよう、毎年配布しています。

地域の催しや明るい話題などがございましたら、気軽に広報係までご連絡ください。☎43・50003(情報課)

